

技術資料

令和6年11月15日
香川県農業試験場病害虫防除所

イネカメムシの栄養源となり得る水稻の再生株（ひこばえ）

をすき込みましょう！

今年は夏以降も高温で推移しているため水稻の再生株（ひこばえ）の生育が旺盛です。そのひこばえにおいてイネカメムシやミナミアオカメムシなどの斑点米カメムシが確認されています。

ひこばえはイネカメムシの栄養源になり得ることから、速やかに耕起し、すき込んでください。

ひこばえはイネカメムシなど斑点米カメムシの幼虫の餌になる恐れがあり「越冬個体数が増える可能性がある」と言われています。

また、10月以降の早期水稻のひこばえにおいてすくい取り調査をしたところ、複数の圃場でイネカメムシやミナミアオカメムシなどの斑点米カメムシが確認されています。

翌年度の発生を抑えるためにも、速やかにひこばえを耕起し、すき込んでください。

【イネカメムシすくい取り虫数】

調査地区	10月22日		11月6日		11月12日	
	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫
A地区	0	0	0	0	0	0
B地区	0	0	0	0	0	0
C地区	5	0	0	0	1	0

※虫取り網で20回振り×2反復の計

【ミナミアオカメムシすくい取り虫数】

調査地区	10月22日		11月6日		11月12日	
	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫
A地区	8	12	0	10	0	5
B地区	5	0	0	6	1	2
C地区	2	6	0	1	0	1

※虫取り網で20回振り×2反復の計



イネカメムシ成虫とミナミアオカメムシ幼虫

(令和6年11月12日撮影)

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichubojjo/index.html>

